

よりよい藤城教育のために ～平成26年度 後期学校評価～

明るい日差しに春の訪れを感じる季節になりました。今年度も残り少なくなり、子ども達は進級に向けて、1年間のまとめを頑張っています。

さて、12月末には教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。後期学校評価ではアンケートの結果とともに**1年間の教育活動について振り返り**、分析・考察を行いました。その年間評価を学校運営協議会において報告し、そこで話し合われた評価結果と改善に向けた支援策を学校関係者評価として記載しております。

後期の保護者アンケートでは、概ね前期と比べて実現度は高くなっています。

本紙面では、評価項目からいくつか取り上げ、**前期と後期を比較**した分析・考察並びに**今年度の取組や今後の課題・改善点**について報告いたします。

裏面では年間の様々な教育活動についての評価をまとめました。この後期評価を来年度よりよい藤城教育へとつなげてまいります。

また、別紙にて、保護者・児童アンケートの結果と自由記述欄のご意見を一部抜粋して掲載しております。あわせてご覧ください。(グラフ中の ■ は前期、■ は後期を表しています。

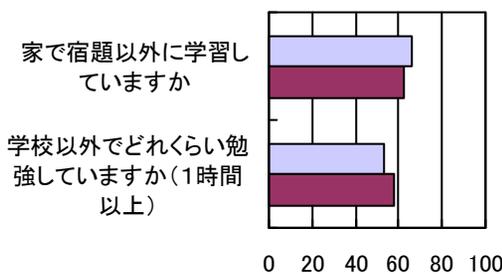
単位はすべて%です。)



確かな学力

今年度、研究主題を『情報活用能力を基にした生きる力の育成』、サブテーマを「ことばの力を育て、豊かに伝え合い、共に学び合う子をめざして」として取り組んできました。

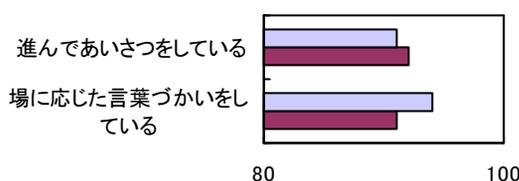
資料を読み取ることや自分の考えをまとめて表現すること、友達に説明したり話し合ったりすること等に、さまざまな学習の中で取り組んできました。10月のJAET京都大会では全クラスが公開授業を行い、全国の先生方に子ども達の学習している様子を参観していただき高く評価していただきました。1月に実施した3・4年のプレジョイントプログラム、5・6年のジョイントプログラムではどの学年も正答率が上がりました。



その一方、学校以外の勉強時間や宿題以外の学習について尋ねる項目では、数値が低い結果となっています。毎日の家庭学習がしっかりと定着することは基礎的・基本的な学力の定着や計画を立て見通しをもって学ぶ力の獲得につながります。ご家庭でも、家庭学習へのお声かけをよろしく願いいたします。

豊かな心

あいさつについては、前・後期アンケートとも9割以上の子ども達ができていると答えていますが、保護者アンケートでは評価は低い結果となっていました。学校運営協議会では、「あいさつは地域からも積極的に声かけをし、子ども達と顔見知りになり、あいさつを定着させていきたい」というご意見をいただきました。これからも様々な課題に対し、**学校・家庭・地域が連携して**取り組み、子ども達を育てていきたいと思ひます。



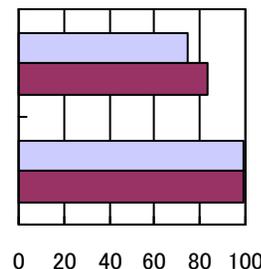
健やかな体

子ども達の健やかな体を育むためには「早寝・早起き・朝ご飯」はとても大切な要素です。朝食を食べる習慣はしっかりと定着していますが学年が上がるにつれ就寝時間が遅くなっています。就寝時間についてはご家庭での協力が欠かせません。是非、声かけをお願いします。

給食後の歯磨きは、前期よりも少し数値が下がりました。歯科衛生士による歯磨き指導(1・2年生)、磨き残しをチェックするピカピカ調べ(全学年)に取り組みましたが、虫歯の治療率は半数以下とたいへん低い治療率という実態です。今後、保健だよりでのお知らせなどを継続しておこない、よい習慣が身につくようにしていきたいと考えます。



ブラッシングタイムに歯磨きしていますか
毎朝、朝食を食べていますか



地域の中で育つ子ども達

後期、「総合防災訓練」と「もちつき大会」に子ども達がスタッフとして参加しました。4年生の子ども達がスタッフとして参加するのは初めてでしたが、とても意欲的に活躍していました。総合的な学習の時間で防災に取り組んでいたこともあり、意欲的に地域の方と一緒に訓練を受けたり、役に立とうとがんばったりする姿が見られました。2月の学校運営協議会では、「子ども達が意欲的にそれぞれの役割を果たそうと頑張っていた」というご意見もいただきました。

今後も、生活科・総合的な学習の時間とリンクしながら、地域とともに様々な場面で子ども達の力を活かしていく取組を進めていきたいと

